人々は、資源の不公平な分配などの不公正な状況に直面した際に、多くの場合、その不公正を是正しようとする傾向を持つ。これまでの最後通告ゲームでの実験によって、行為者の不公正な意図が、不公正の直接の被害者による不公正是正行動に重要な役割を果たしていることが示されてきた。本研究では、同じ研究方法を用いて、第三者が行う不公正是正行動においても、行為者の不公正な意図が重要な役割を果たしているかどうかを実験によって検証した。実験の結果、意図の効果は見られたものの、意図がない状況でも、多くの参加者が不公正是正行動をとることが示された。これらの結果は、第三者による不公正是正行動では、“不公正な意図”はもとより“不公正な結果”が重要な役割を果たしていることを示唆している。

キーワード：

社会的交換、公正感、罰、意図、第三者